

担い手通信



ゴマの産地化プロジェクトは、四日市市のゴマ加工メーカー、九鬼産業や県が2014年に始めました。17年からは農研機構や農機具メーカーの井関農機が加わり、既存の機械を活用した技術開発を進めています。手作業が中心だったゴマの収穫、選別を機械化することで、労働コスト

の3割減と所得の1割増を目指します。収穫作業では、生産者の機械投資を抑えるため、大豆用コンバインを応用することにしました。茎や葉も同時に刈り取るように、コンバイン内部の選別部分を改良しています。県農業研究所によると、10アール当たりの収穫時間は1時

間になりました。選別作業でも、大豆や水稲で利用する選別機の活用を目指しました。ゴマの種子は大豆や米に比べて小さいため、選別機の網の目合いを6ミリから3ミリへ変更。未熟果や雑草なども選別できます。従来の手作業ではふるいを使うため、選別作業には2週間もの時間がかかっていましたが、選別機を使うことで、作業を2、3日で終えることができます。手間のかかる作業が機械化できたことから、ゴマ栽培に取り組み農家や事業者は増加。農

三重県やゴマ加工メーカーなどがゴマ栽培の機械化に取り組み、地域で栽培面積が広がっています。機械化したのは収穫や選別の作業で、大豆用のコンバインや選別機を改良しました。作業時間は従来の2週間から2、3日に短縮でき、旺盛な国産ゴマ需要への対応が期待されます。

先進事例情報

Advanced case information

ゴマ増産へ機械化

三重県、加工業者、国産地化プロジェクト 既存機を改良

希少な国産需要応える

研機構が育成した品種「にしきまる」の作付面積は、14年度が福祉事業者など2事業者0.6畝でしたが、機械の導入が本格化した18年度には農家・事業者36経営体19.7畝に広がり、生産量は、14年度の250キログラムから、18年度には約9倍の2.2トになりました。



改良した大豆用コンバインを使ったゴマの収穫(鈴鹿市で)

営農技術ピックアップ

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

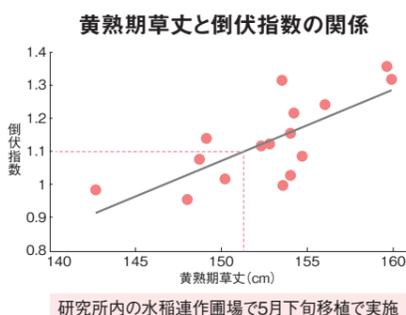
WCS用稲「たちすずか」は草丈を抑えて安定生産

黄熟期の草丈は150センチ以下に

県内ではホールクローブサイレージ(WCS)用の稲品種「たちすずか」の導入が急速に進

んでいます。「たちすずか」は、牛が消化しにくい割合が少なく、サイレージ発酵の際に乳酸菌

ここで本研究所では、安定生産に向けて倒伏させない草丈を明らかにしました。



のエネルギー源となる糖分を茎や葉に多く含む品種です。しかし、草丈が伸びやすく、収穫を迎える秋口に台風等によって稈(かん)が折れて倒伏しやすいことが課題となっています。そ

風雨の強さと倒伏の関係を見ると、人工台風発生機(風速20m/s、流量6リットル/分、処理時間2分)を用いた試験では、倒伏性を示す「倒伏指数」が1.1を超えると倒伏の可能性が高まることになりました。

た。黄熟期の草丈が150センチまでであれば、倒伏指数が1.1以下となり、倒伏しにくくなります(図参照)。また、黄熟期の草丈は窒素吸収量と正の相関があり、黄熟期の草丈を150センチ以下にするためには、窒素吸収量を12キログラム/10アール以下にする必要があることを明らかにしました。

また、栽植密度は、50株/坪の方が37株/坪に比べ、同じ収量でも草丈を抑えられるため、収量を確保しつつ倒伏を抑制することができます。

お問い合わせ先 生産技術研究室 農産研究課 ☎0598-42-6359

JAバンク三重 専門家派遣事業

法人化

事業承継

労務管理

農業者の皆さまの悩みや課題を 専門家がサポートします

6次産業化

経営改善



- ★税理士や中小企業診断士などのプロがアドバイスを行います。
- ★年間最大で5回、**無料**で専門家のサポートを受けることができます。

「JAバンク三重専門家派遣事業」は、円滑な事業承継や経営の高度化を目指す農業者の皆さまの要請に応じ、専門的な知識や経験を有する専門家を派遣し、経営課題に応じた適切な診断・助言を行うことで、課題の解決を図り、皆さまの発展に資することを目的としています。ぜひ、ご利用ください。

実施期間

2019年4月1日
～2020年2月28日

対象者

- 三重県内において農業を営む方および農業に従事する方
 - 三重県内において農業を営む法人
- ※課題が不明確な場合や受入体制が不十分などの場合は、ご希望に沿いかねる場合がございます。

詳細については各JA担当者までご確認ください

農業経営資金

5年 0.2% (変動金利)

※利率補給・金利引下げにより最大1%を当初5年間金利負担軽減します。

取扱期間 2019年4月1日～2020年3月31日

- トラクターなど農業機械購入
- 栽培用ハウス・畜舎建設
- その他農業経営に必要な資金に

実質保証料負担

保証料全期間 全額助成!

0円

※表示金利は2019年11月1日時点のものです。※利率補給・金利引下げ後の当初ご負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。※JAバンク保証料助成により、実質保証料が0円になります。

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>
2019年11月1日現在

